



志・感動・笑顔 3つの「あ」を大事に  
 ～あきらめない ありがとう あいさつ～

# たてやま

榎岡小学校だより No.3  
 令和6年6月26日(水)  
 【文責:校長 井上敏春】

榎岡小 Web ページ  
 二次元バーコード  
 →トップページ  
 →地域の皆様へ  
 をクリック!



6/21～二十四節気「夏至(げし)」一年で最も昼が長い日。梅雨を迎え、あじさいなどの花が映える時季。

## 安全学習④ 火災想定での避難訓練 “具体的日時の告知なし” 避難時、最も大事な持ち物は「自他の命」

安全学習の今年度第4回は6月17日(月)～21日(金)の期間に、子供たちはもちろん、教職員(知っているのは一部のみ)にも具体的日時を知らせず実施しました。

子供一人一人の判断で、自らの安全を確保しながら、安全な場所に避難できるかを試すためです。しかし、このような想定での訓練は思わぬ事故や怪我、パニックなども大いに心配されるため、本校のような人数と規模の学校では、なかなか実施に踏み切れずにいることも少なくありません。しかし“訓練のための訓練”は、全く意味を為さない”との考えから、本校ではこれまでの安全学習の度に「災害はいつも突然。いざという時に自分一人の判断で、安全に避難できるかが大事。そのうち『予告なし』の避難訓練をします！」との宣言を繰り返してきました。満を持して、今回が初めての訓練実施となりました。



6月18日(火) 中間休み。子供たちは授業を終えて、様々な活動に入り、あちらこちらに点在している状態となった午前10時43分。「訓練です。訓練です。理科室で火災が発生しました。校舎に燃え広がる危険性があります。安全に十分留意して、体育館に避難しなさい。」との緊急避難放送が流れます。どの子もその場に座り、さっと緊張した表情に変えて、落ち着いて放送を聞いています。



避難時の原則は「お(さない)・か(けない)・し(ずかに)・も(どらない)・て(いがくねんゆうせん)」と学んでいます。避難開始の合図と共に、体育館に一斉に向かい始める子。想定が“火事”なので、煙はなくとも窓や扉を閉める子。煙を避けて腰を低くして避難する子。自分の学級の安全旗を手に体育館に向かう子。下学年を優先して誘導したり、声掛けしたりする上学年の子。慌てず、騒がず、沈着冷静…さすが、たてやまっ子！ 実にすばらしい避難行動でした。

しかし、そのような中、逆方向に向かう子がいます。「逃げるのは、体育館だよー。」の音が響きます。どうやら、頭を守るための「帽子」が無い、煙を吸わないための「ハンカチ」が無かったからのようです。すると、原則の一つ「もどらない！」に気付いて、手や腕、衣服などで頭や口、鼻などを覆う行動に変えて、速やかに体育館に向かいました。一番大事な持ち物は「自分と他の人の命」です。

今回も村山市防災対策課 防災専門員 工藤智久さんをお招きしました。子供たちの的確な避難行動に、たくさんのお褒めの言葉を頂戴しました。今後も、毎回、イレギュラーな想定を加えながら、臨機応変な避難行動ができるよう、安全学習を継続していきます。

また、村山市消防本部「『子ども救命士』育成出前授業(5・6年生対象)」を6月19日(水)に救急主任 秋葉一樹さん、消防副士長 土田健純さん、消防士 小林聖生さんの3名を講師にお迎えして実施しました。紙面の都合で今号では省略しますが、ぜひ上部タイトルにある二次元バーコードから本校 Web ページ内 **児童の活躍** タブからご覧ください。





# たくさんの感動をありがとう!!



〈たてやま大運動会スローガン〉  
**全力 団結 高め合い**  
～優勝をつかみ取れ! 心を一つに楯小魂!～

白組 (1組)

赤組 (2組)

青組 (3組)



楯岡小学校創立 151 年の新時代を創る大きな第一歩としての大運動会を子供たちと共に特別な思いを詰め込んで開催することにしました。それは、足掛け4年かかった長いコロナ禍を経て培った新スタイルの「個人種目 100M走と団体種目を分散して行う運動会」、熱中症や豪雨災害前の「若葉が目眩しく映る時季に行う運動会」、そして本校創立以来、子供たちを見守り続ける私たちの「楯山」の名前を冠した『たてやま大運動会』の開催です。

令和6年度がスタートした4月から6年生を中心に、自分たちの運動会は自分たちで「考えて、決めて、そして創る大運動会」を目指して、運動会実行委員、各組組頭や応援団長を始めとしたリーダーを先頭にして、5年生から1年生までも独自の実行委員会組織やリーダーを立ち上げ、一生懸命に、準備や練習に励んできました。

## たてやま大運動会 総合成績

	白組 (1組)	赤組 (2組)	青組 (3組)
競技の部	準優勝	優勝	準優勝
総合得点	1,415 点	1,445 点	1,415 点
応援賞	準応援賞	応援賞	準応援賞
看板賞	「これが白組の 最高地点」 で賞	「栄光時代は 今なんだよ」 で賞	「みんなのため に無限の力を 出せる」で賞

※総合得点の配分 1位…100点、2位…95点、3位…90点  
(児童実行委員・競技部等で協議し、決定したもの)

6月8日(土)の「たてやま大運動会」は団体の部、最終決戦の日。

開会式では、5月中・下旬に行った1～6年生の個人種目「100M走」の結果を発表しました。僅差で第1位が2組連合の「赤組」、第2位が1組連合の「白組」、第3位は3組連合の「青組」でした。

この成績をスタートとして、団体種目は、昨年度の創立150周年記念品として『学校後援会』の皆様から頂いた「校章と校名入りの赤、白、青のビブス」を付けて学年ごとに一人一人の心をつなぐ「全員リレー」、上・下学年が力を合わせて競う「団体種目」(1・6年生「台風の目」、3・5年生「綱引き」2・4年生「まり入れ」)、そして各組の団結の姿を体現する「応援合戦」の各種目で競い合います。お昼前までには全ての競技が終了します。一進一退の攻防は、最終種目まで続きました。総合成績は、優勝が2組連合の赤組、準優勝は何と同点で白組・青組でした。応援賞が赤組となり、完全優勝となりました。感極まり涙する子たちも多く、観戦した保護者の皆様、教職員までも含めて、会場全体が「感動をありがとう!」という心で満たされた、実り多き大運動会となりました。



# リーダーから 運動会を終えて ひとことコメント

**実行委員長 6年 磯崎 太輔**  
実行委員長として全校をまとめられるよう計画的に行動した。当日は実行委員全員で臨機応変に対応した。小学校最後の運動会は今までで一番、最高でした。

**競技部長 6年 藤橋 蘭**  
競技の点数や仕事の分担などの話し合いをスムーズに進められた。競技部全員のおかげで最高の運動会になった。リーダー性と責任感を今後も生かしたい。

**リレー部長 6年 片桐 結夏**  
部長としてリレー部会の話し合いを進めた。司会をしたり、みんなを並べたり、まとめたりが大変だったけど、みんなの絆が深まり、一番思い出に残るリレーとなった。

**副実行委員長 6年 伊藤 花音**  
副実行委員長としての自分の仕事を意識し、行動に移してきた。当日は実行委員全員で臨機応変に対応した。小学校最後の運動会は今までで一番、最高でした。

**準備部長 6年 笹原 新**  
全員が全力で競技に取り組めるように縁の下の力持ちとして、白・赤・青組、みんな関係なく支える仕事をした。部員全員で準備して、団結力が付いた、いい経験ができた。

## 白組 (1組)

**白組組頭 6年 佐藤 湊**  
白組全員が応援・競技に全力で取り組んでいた姿がかっこよかった。組頭として自分から行動して、白組をリードできた。今年の運動会での感動は忘れません。

**白組組頭 6年 柴崎 和空**  
負けたけど、絶対に忘れることのない最高の運動会をつくった。組頭として得点にならない部分にも力を入れた。学んだことをこれからの生活に生かしたい。

**白組応援団長 6年 軽部 大翔**  
準優勝だったけど、白組は全力で種目や応援に取り組み、力を出し切った。完全優勝できなかったが、足りないところをこれからの生活で取り組んでいきたい。

**白組副応援団長 6年 三浦 心寧**  
副団長は大変だったけど、悔いの残らないよう本気でがんばった。応援賞は取れなかったが、白組全員が限界まで力を出し、思い出に残る運動会になった。

**白組看板部長 6年 大類龍之介**  
白組はみんなで協力しながら、白組が完全優勝できるように願いを込めて看板をかきました。みんなと協力して下描きや色塗りができたのがうれしかった。

## 赤組 (2組)

**赤組組頭 6年 森谷 祐亘**  
最後の運動会、最高の運動会になった。しかし、これで終わりにならないよう、この運動会で学んだことを生かして、自分たちそして学校をより良くしていく。

**赤組組頭 6年 野續 奏亜**  
白・赤・青組とも白熱した運動会になった。運動会を通してみんなをまとめる力がついた。成長できたことをこれからの生活で生かしていく。最高の運動会だった。

**赤組応援団長 6年 西山 威彪**  
練習の成果を思う存分発揮し、限界まで声を出し切った。競技中も応援合戦も赤組みんなの熱い応援で応援賞を取り、完全優勝できた。最高の思い出になった。

**赤組副応援団長 6年 奥山 龍生**  
応援合戦では、できるだけ大きな声と低い腰で限界まで応援した。赤組みんなの熱い応援で応援賞を取ることができた。白熱した応援合戦を一生忘れない。

**赤組看板部長 6年 佐藤 三凧**  
赤組はトラブルが起きてても泰然自若で対応できた。私は部長として力戦奮闘で挑んだので後悔はない。赤組の完全優勝、得た成長の姿を一生忘れない。

## 青組 (3組)

**青組組頭 6年 平 晨備**  
とても白熱した運動会になった。結果は準優勝だが、青組全員が練習や準備に気を抜かずに取り組み成長につながった。その成長を生活に十分発揮したい。

**青組組頭 6年 高橋 心陽**  
優勝をのがしたけれども、青組全員で優勝以上の大切なものを手に入れて、やり切ったという気持ちが大きい。みんなで作った最高の運動会になった。

**青組応援団長 6年 今田 蓮桜**  
応援団長としてみんなの手本となるように、腰を最大限まで曲げ、声もできるだけ大きくした。応援賞は取れなかったが、青組みんなが声を出して良かった。

**青組副応援団長 6年 井上 ゆあ**  
応援賞が取れなくて、とても悔しかった。でも、副団長として団長をサポートして、皆をまとめることができた。笑顔で応援できたことが一番うれしかった。

**青組看板部長 6年 本間 明花**  
青組は青組のみんなが全力を出せるように迫力ある看板を描いた。色塗りを分担し、丁寧に仕上げた。これからも仲間と団結して生活をしていきたい。

## 白組 (1組)



## 赤組 (2組)



## 青組 (3組)





小暑 7/7～、大暑 7/23～

# 7月の行事予定

日	曜	給食	関係行事
1	月	○	
2	火	○	自動車文庫⑤ ※楯岡中学生7名職場体験(～7/4)
3	水	○	修学旅行[6年(岩手・宮城方面)]
4	木	○	修学旅行[6年(岩手・宮城方面)]
5	金	○	※学校集金振替日 ※6年生のみ給食なし午前授業 授業研究会 フッ素洗口⑧、
6	土	—	
7	日	—	PTA学年行事[1年]
8	月	○	希望者教育相談週間(～7/12)
9	火	○	集会
10	水	○	フッ素洗口⑨ 児童委員会活動⑤
11	木	○	いのちの日 児童代表委員会③
12	金	○	服のチカラプロジェクト[3年:講師ユニクロ]
13	土	—	
14	日	—	
15	月	—	海の日 山形県小学生陸上競技交流大会[5・6年選手]
16	火	○	月曜日課



日	曜	給食	関係行事
17	水	○	移動学習[4の1] 手紙の書き方出前授業[5年] クラブ活動④
18	木	○	移動学習[4の2] ワイバズ応援給食[5年]
19	金	○	移動学習[4の3]
20	土	—	
21	日	—	
22	月	○	職員会議⑥
23	火	○	自動車文庫⑥
24	水	○	朝会 フッ素洗口
25	木	○	市教育委員会学校訪問
26	金	○	※夏休み前最終日
27	土	—	PTA学年行事[4年学校泊～7/28]
28	日	—	
29	月	—	夏季休業(～8/21(水)) 市内小・中学校職員研修・教育講演会
30	火	—	
31	水	—	



【参考】8・9月の主な行事予定(6/25現在)

- 8/ 5(月)学校集金振替日
- 10(土)NHK学校音楽コンクール県大会[合唱部]
- 13(火)～16(金)学校閉庁(職員不在)
- 18(日)全日本合唱コンクール県大会[合唱部]
- ※徳内まつり8/23(金)宵まつり、24(土)～25(日)本まつり
- 26(月)児童休業日、職員は出勤(職員会議等)
- 9/ 8(日)PTA作業②(総務・体育部・1年)
- ※相撲取組(通常の体育の相撲学習もご覧ください)
- 25(水)[1・4年]、26(木)[2・5年]、27(金)[3・6年]